

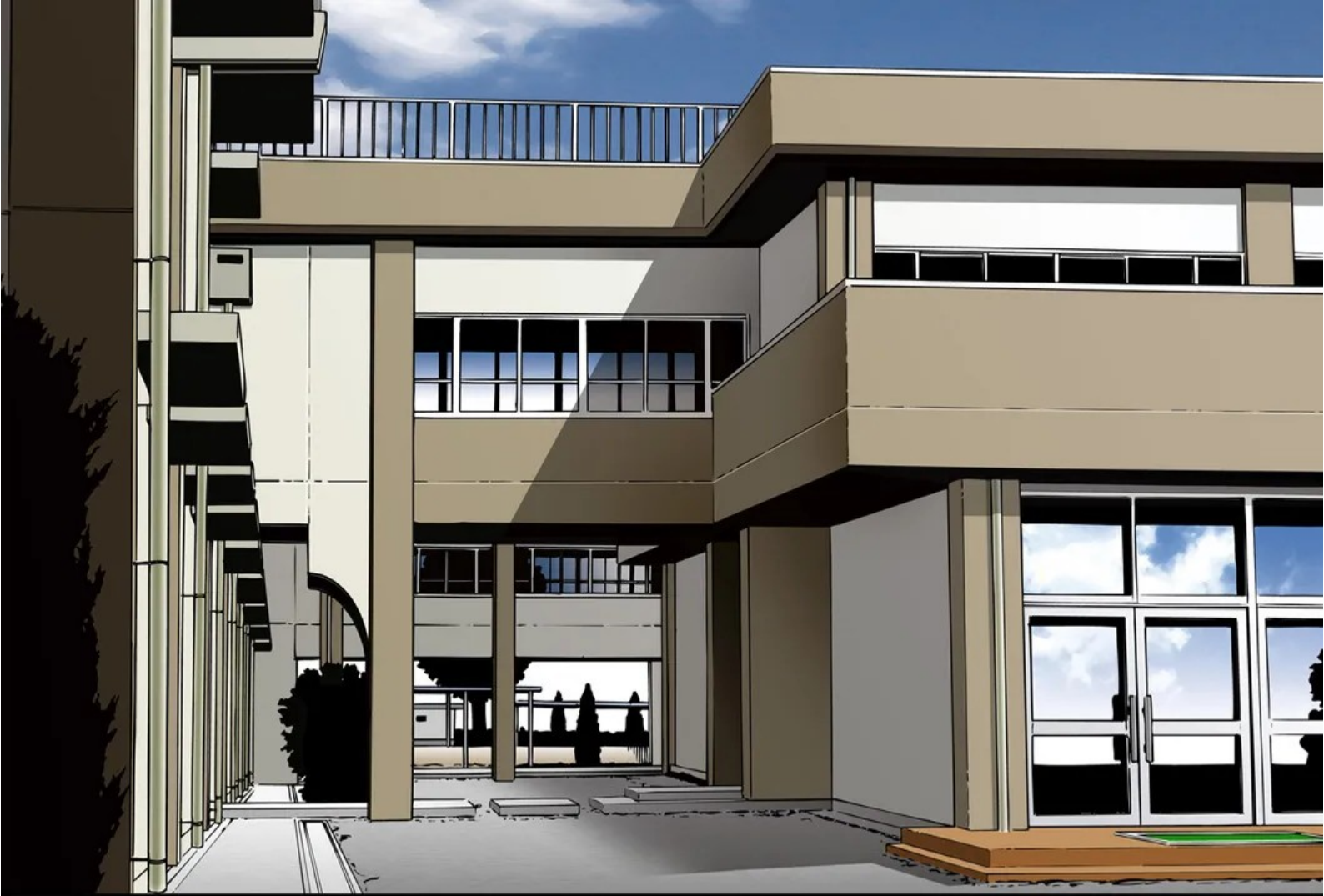


# 種受け村

～捧げられた裸女の性祭～

2

Willplus/KEWS



ううっ…何て大きな  
おっぱいしてるの

私なんかより  
全然大きいわ



…あぁあ  
そそんな事は

クニユッ

クニユッ

何バカ言つてんだ  
：おにいはおれの  
おっぱい見ないと  
勃起しないべ…



摩耶 まずいよ  
こんなところで…

胸をしまえって  
…うろうう



ややだっ…  
私ったらだめっ…  
先輩のそんなとこ  
見たら…



ニョポッ

ニョッ

少女の手に  
握られた  
先輩のペ〇スは  
思いのほか  
大きく見えた



アハッ  
勃つてきた  
勃つてきた

ニクッ  
ニクッ  
ニクッ  
ニクッ  
ニクッ  
ニクッ  
ニクッ  
ニクッ  
ニクッ  
ニクッ

あつ…ああ…  
ま摩耶…  
だめだつ…!!

あああ…



ま…まあ…  
あんな事…



フフツ  
久しぶりだな  
おにいのち○ち○

確かおにいはいは  
こう動かされると  
弱いんだよな



お  
おつきい…!!

少女の指で執拗に擦られた  
義彦先輩のぺ○スは巨大な  
鈴みたいに膨張した



うっ ううう…  
ま 摩耶  
ダメだってば



くおおおお!!

ズポッ  
フポッ  
フポッ



やっぱりおにいの  
ち○ち○は  
こうじゃねえとな



ズポッ  
フポッ  
フポッ

グジュ  
グジュ  
グジュ

んぶふ…  
気持ちいいべ?

おれの口ん中で  
おにいのち○ち○  
ピクピクしてっど

あああ…  
ま 摩耶っ…!!



ウツソー!!

あつ…  
あああ

んほっ

義彦先輩…

口でしごいて  
やつからな…  
んっ…じゅぷっ  
じゅぷっ

んほっ  
んほっ  
んほっ

おれ 村長様に  
言われて迎えに  
来たんだ

迎えに？

んおおおっ…!!

んほっ  
んほっ  
んほっ

んほっ  
んほっ  
んほっ



それはなんねえ!!



あんな村に  
帰りたいくない  
んだけどな...



これからの村には  
おにいの存在が  
欠かせねえんだ



おれと一緒に  
帰るぞ…



もしかして  
同じ村の人間…



お祭り…

とんでもない  
災いって…



祭りを無事に  
終わらせねえど  
村にとんでもねー  
災いが降り  
かかるって  
おにいも  
わかってるべ



今日はまだ子種汁  
飲んでなかつたから  
ちようど良かったべ

ううう…毎日  
飲まなくても  
いいだろ？



ううっ…  
摩耶村でもまだ  
ずつとこんな事  
してるのか？

ああ…たける  
以外はな  
おれあいつ  
嫌いなんだ



おれ あんま  
好きじゃねえ  
でもおにいの  
だったら別に  
嫌じゃねえだ



摩耶はこの習慣  
どう思ってるんだ？

習慣…？



少女は髪を振り乱し  
狂ったような勢いで  
顔を前後に振り始めた

ウホッ

ウホッ

ウフッ  
ズホッ

フホッ

フホッ

フホッ

フホッ

ウホッ

少女のいやらしい  
責めのせいで  
義彦先輩の  
ぺ○スはまた  
一回りくらい  
大きくなった  
ように見えた

おれの回マ○コ  
やっぱ最高にいいべ  
…ほれほれ

ウホッ

んあああ…

ま摩耶…だめだっ

…もうもう

ガマン出来ない

フホッ

ズフッ

ウホッ

ああ…やだっ

ニホッ

ズピッ

フホッ

ジュホッ

先輩にそんな事  
しないでっ!!

出したくなつて  
きたべ？  
いいどおにい  
いっぱい射精しろ

ニユポッ  
ジュポッ

最後の最後まで  
ロマ○コで  
しごいてやつからさ

ウポッ  
ジュポッ  
ウポッ  
ウポッ

先輩っ  
いやああっ!!

おおおっ…

もうだめだっ!!  
出すぞ! 摩耶  
出すぞ!!

せ 先輩っ…!!

がっ  
がっ

がっ  
がっ

がっ  
がっ

いいど 出せおにい…  
おれがロマ○コで  
すべて受け止めてやる

ウホッ  
ウホッ

あああつ出る！  
イツ…イクッ！！

ウホッ  
ウホッ  
ウホッ

先輩っ…

ドクッ  
ドクッ  
ドクッ  
ドクッ

ドクッ  
ドクッ  
ドクッ  
ドクッ  
ドクッ



義彦先輩は私だけの  
ものだと思つてたのに



いえ  
やっぱり義彦先輩は  
私だけのものよ！  
あの子に取られて  
たまるものですか

翌日から義彦先輩は  
学校に来なくなつた



私はあせつて義彦先輩の  
友達に聞いて回つた

先輩はどこに  
行つたんですか？



急に田舎に  
帰らなくちや  
ならなくなつた  
らしいよ

田舎？

私はその時摩耶という  
少女の事を思い出した

確か東北の  
「多田根村」とか  
言ってたなあ

え——っ!!

多田根村：  
私の夢に出てきた  
村の名じゃない



摩耶という子に  
義彦先輩を取られたくない



私は義彦先輩を追って  
「多田根村」へ行く決心をした



ああんっ!!

ギヤル社長  
中森りか





もともとは渋谷で遊んでいた  
ただの不良ギャルだったけど



ギャル仲間を募って  
モデル会社を立ち上げたら  
大ヒット

そんでテレビや雑誌なんか  
登場し世間からチャホヤ  
もてはやされたりした

しかし今は資金繰りが  
苦しくなってマジで  
首が回らなくなっている





手にしたローターをパンツの上からクリ○リスにあてがい円を描くようにグリグリと刺激する

ああーんっ!!

しびれるような感覚がおそいワレメがイヤラシク開いてオ○○コの奥がうずき始める

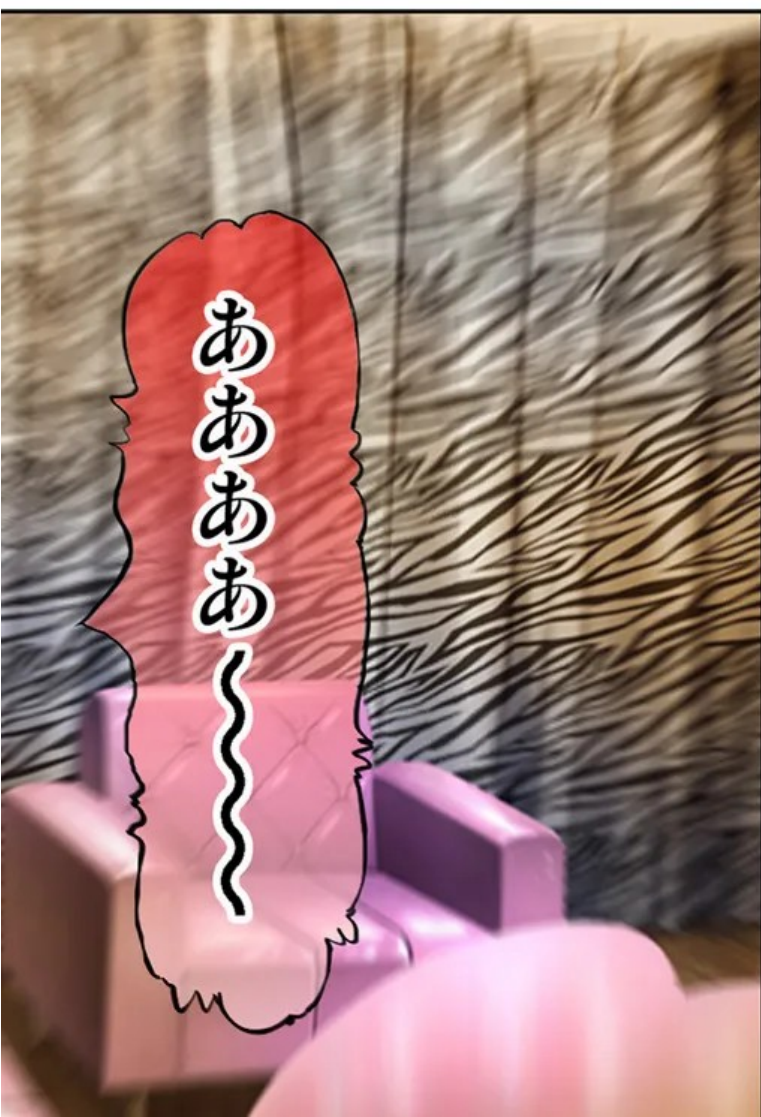
グイグイ  
グイグイ  
グイグイ

ああんっ!!  
ああんっ!!

ク○トリ○に押し付けたローターの動きを加速させる

グイグイ  
グイグイ  
グイグイ  
グイグイ







いっ...

ト...

ヒッ...

ヒッ...

ヒッ...

い...イツちやう

ヒッ...



ヒッ...

ヒッ...

ヒッ...

ヒッ...

ヒッ...

すべてがどろろでもよくなる  
ような強烈な絶頂感

しかしうだるような官能の  
時間はおだやかな弧を  
描くように去っていった



ふうり…

現実に戻されていつもの  
空しい気分になりながら  
ローターを隠す





その時玄関のドアが  
開く音がした

ガラッ



おい  
馬券どうだったか？

ちっもう  
帰ってきたか



馬券だよ 馬券  
今日のメインレース  
頼んどいたたろ？



ああっ？



んなもん  
外れたに  
決まってん  
じゃん

しよぼっ！

コイツの名前は  
猪狩哮



金にも女にもだらしない  
ダメ男だがビジュアルだけは  
そこそこなので  
私のアクセサリーだ

まそういう事だね…  
はい金は？

なんだよ

トボけんなよ馬券代  
立て替えた5万返せよ





今金ねえんだよ

はあ？  
ザケんなよ



ツケにしとけよ



ええっ…またあ？  
つーか 5万返せよ

そそんなことよりさ  
アレやってくれよ

今度勝つたら  
必ず返すからさー

と言いながらさっさと  
ズボンとボクサーパンツを  
脱ぎ捨てた

うっ…おおい  
もう半勃ちかよ

お前さーアタシを  
ナンだと思ってるの？

恋人じゃねえの？  
オレたち

一応  
その可能性も  
あるな

何だよそれ  
それなら早く  
しゃぶってくれよ

そうだ  
今回パイズリの  
フェラで頼むな

そのメチャエロい  
巨乳で俺のチンポを  
しごいてくれよ

しようがないなー



実を言えば今だ処女の  
私にはこういう事はかなり  
恥ずかしいんだけど  
そう思われたくないんだ



うおおっ!!  
おお気持ちいい

ニユコッ  
ニユコッ  
ニユコッ  
ニユコッ



その方がスベリが  
よくなんだろ?

何だよ

リカよだれ  
垂らしてくれよ

いちいち注文の  
多いヤツだな

ニユコッ  
ニユホッ



トロリー  
レロリー



ウググ  
フポフポ  
フポフポ  
フポフポ



はあくったくもう

おお：いいぜ：  
そしたらパイズリ  
しながら口でも  
してくれよ

おおマジで  
最高に気持ち  
いいー

リカのアラテクって  
本当にイケてるよな…  
むおおっ


くふふっ…  
たまんねえ…  
チチの感触も  
サイコーだし  
そのえげつない  
舌使い最高だな

ムホッ  
ムホッ

ムホッ  
ムホッ  
ムホッ  
ムホッ

そう思うなら  
早く出せよな

マジ中毒に  
なりそうだぜ



そう言われると  
こっちもエッチな  
気分になつて  
くるんだよね

山ポッ  
山ポッ  
フポッ  
ズフッ



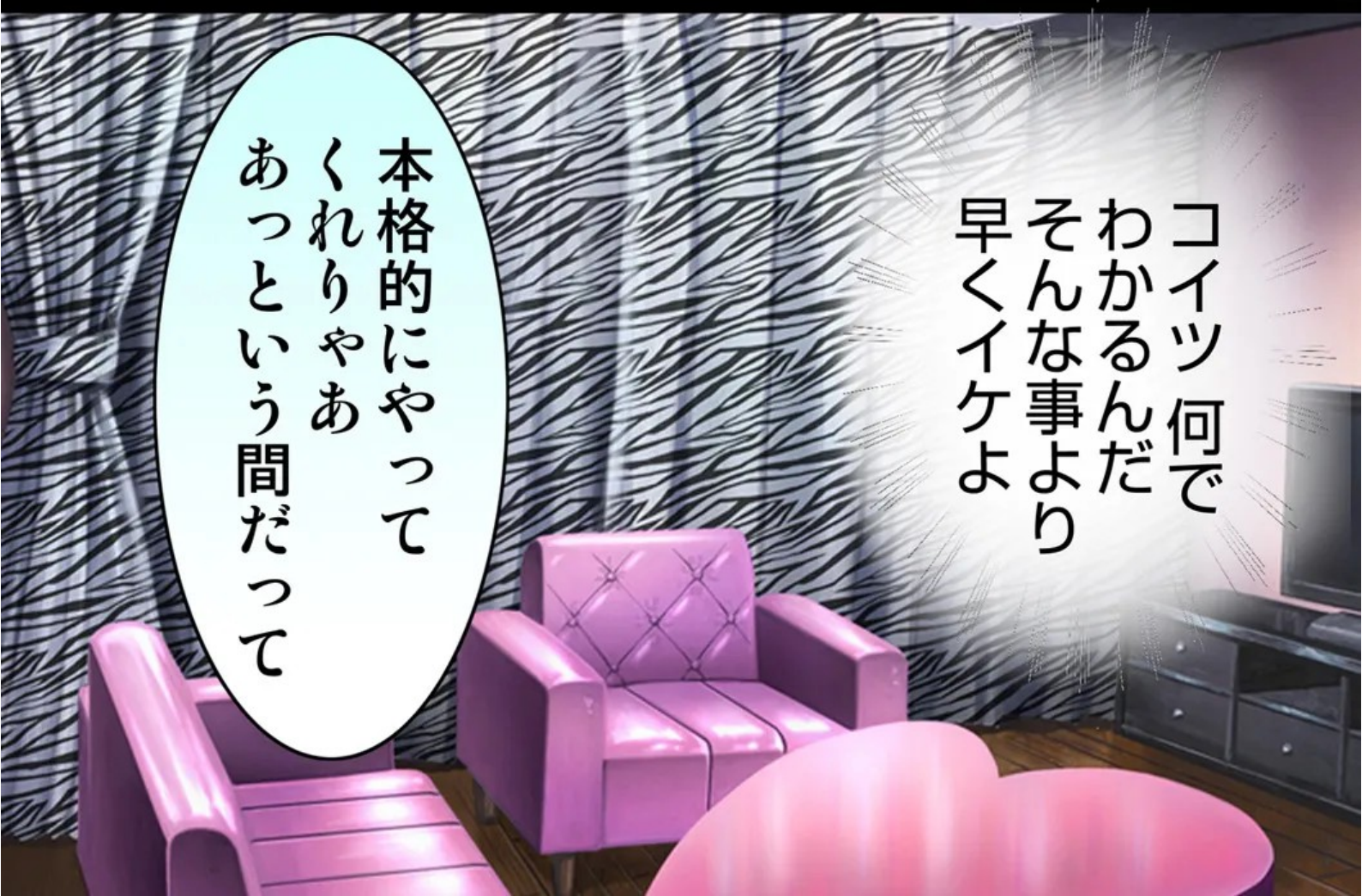
どうだ リカも  
エッチな気分になつてきただろ？

ギクツ 天性の女たらしの  
タケルはこういふところはやけに勘がいいんだよね



なるわけないでしょとは  
言ってみたが正直少し  
感じてたんだ

へへへ そうかあ？  
意外にマ○コは  
ヌルヌルだったたり  
してー



コイツ何で  
わかるんだ  
そんな事より  
早くイケよ

本格的にやって  
くれりやあ  
あつという間だって

タケルは腰をつき出し  
むりやり肉棒を奥へ  
くわえこまされる

うげげげっ!!

うぐぐっ!!  
ぐぐぐ!!

いいじゃねえか  
おらおら

ニョホッ  
ウホッ  
ウホッ  
ウホッ

クッ  
フッ

アタシの動きに合わせて  
カクカクと腰を振り  
胸の谷間と口の中で  
派手に肉棒をピストンさせる

ズボッ  
ウホッ  
ウホッ  
ニョホッ

やばっ!  
か感じちやう  
:!!

おお:出る!!  
リカ射精すつぞ!  
子種汁出すからな

ビョッ  
ビョッ  
ビョッ  
ビョッ

うううう：  
子種汁が出るっ！！

はあ  
はあ  
はあ  
はあ

ピッ  
ピッ  
ピッ  
ピッ

はあ  
はあ

くうううっ…  
くうううっ…

ぐああっ！！  
もうだめだっ！！  
くうううっ！！

ドドドド  
ドドドド  
ドドドド  
ドドドド

んぐぐぐっ！！

オレの子種汁  
全部飲んでくれよ  
残らず飲むんだ！

何だよ子種汁って  
他に言い方ないのか？  
くうううっ

そうだそうだ  
いいぞへへへ

ゴクゴク  
ゴクゴク

ゴクゴク  
ゴクゴク

すっかり  
飲みほしたか？

グ  
ボ  
ッ


ちよつと  
アンタ  
いい加減に  
してよ！

毎回 気持ち  
悪いモン飲ませて  
アタシを何だと  
思ってるのよ

ナニ言ってるの？  
オンナが子種汁  
飲むのは当たり前  
の事じゃねえか

そうロイミって  
男はぐらぐらヤミ






そういえば以前  
オレの故郷の祭りに  
一緒に参加して  
ほしいって  
話したじゃねえか

あああの話？  
だから行かないって  
言ったじゃん




そうだけどさー


嫌いなんだよ  
気持ち悪い虫とか  
蛇とか：畑の  
匂いも嫌いだし



確か東北の  
ど田舎の村で  
「多田根村」って  
言ったっけ？



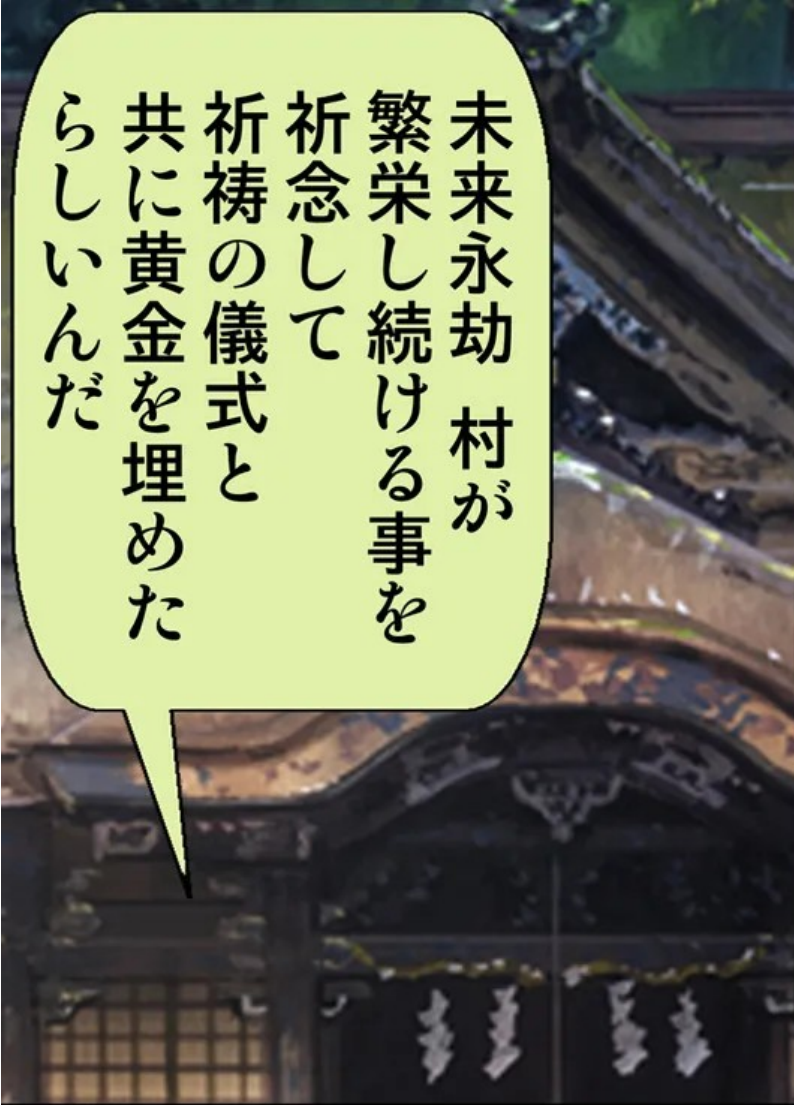
親父から  
聞いたんだけど  
16世紀多田根村を  
統治していた長者が



ある形に生成した  
48個の黄金を村の  
ある場所に埋蔵した  
らしいんだ




目的は子宝祈願で  
村の人口が  
絶える事なく増え




未来永劫 村が  
繁栄し続ける事を  
祈念して  
祈祷の儀式と  
共に黄金を埋めた  
らしいんだ



ガセじゃないの？



実はその  
埋蔵金の一部が  
チラホラ  
見つかってんだ



うちの村って昔から  
鉄砲水とかの被害が  
多かつたららしいから

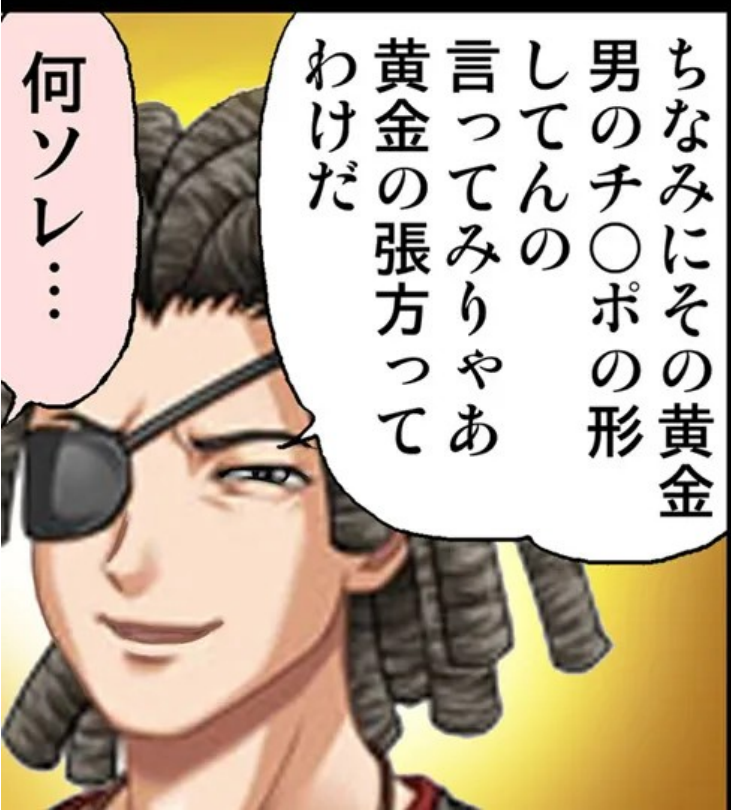
エー

埋めた場所から  
バラバラになつち  
まっただらうな



埋蔵金か…

それさえあれば  
借金を返して  
会社をたて  
直せるじゃん



ちなみにその黄金  
男のチ○ポの形  
してんの  
言ってみりやあ  
黄金の張方って  
わけだ

何ソレ…

オレ村長から  
女と一緒に  
来いって  
頼まれちゃって  
困ってんだよ

今忙しいんだけど  
今回だけ特別に  
タケルに  
つき合ってやるか

村長ってタケルは  
親しいの？

ああ：オレの  
親父だから

え!?!  
あんた村長の  
息子なの？

まあ：長男じゃ  
ないけどな

アタシは埋蔵金を求めて  
多田根村へ行く事にした

# 不倫妻



ここはうらぶれた  
ラブホテル——






ああ〜ん!!!  
小沼さん!!!


美里  
いいだろ?

だめっ 今日  
危険日だから  
ゴムをつけてっ…



私の  
愛しい恋人  
小沼さん

小沼さんと  
出会って私の  
生活は一変  
しました



夫の猪狩孝介は経営の才能もないのに健康食品会社を立ち上げたがうまくいかず

多くの借金をかかえて会社は倒産寸前です



こんな生活にウンザリしている時に小沼さんと知り合いました



小沼さんはコンドームをつけたペ○スの先を私のアソコになすりつけ始めました

イヤーン  
小沼さんじらさ  
ないで

ヌチュ  
ヌチュ  
ヌチュ

チン○の先を  
美里のオマ○コに  
擦りつけるだけで  
イヤラシイ音  
たててるぞ

はああ〜ん…  
意地悪はイヤっ!!  
早くウ〜早くウ

クチュ  
ヌチュ  
クチュ

入れて  
ほしいのかい？

ガチュン  
ヌチュ  
リチュ  
チパッ  
チポ

チ○ポを入れてって  
おねだりしてごらん

小沼さんはそういつて  
さらに強く私の蜜穴に  
ぺ○スをなすりつけます

あああ〜っ!!  
ああっ!!  
ああっ!!

言うんだ  
言わないとこれで  
止めちゃうよ

イヤンっ…  
やめないでっ!!

フ  
チュ  
グ  
チュ  
ペ  
チャ

ク  
ニ  
ッ  
フ  
チュ  
ア  
ニ  
ッ  
ニ  
ッ

じや言うんだ  
これは命令だよ

あ  
ああっ…

ペ  
チャ  
フ  
ニ  
ッ  
フ  
ニ  
ッ  
ペ  
チャ



うろうろ…  
小沼さんの…

ポチャ

ポチャ  
ポチャ

何をだい？  
美里は何を入れて  
ほしいんだい？



ああああ…

い入れてっ…  
入れて下さい…



いやあつ…  
そんな恥ずかしい事  
言えないっ！

オ〇ン〇ンじゃない  
〇ンポだろ？



ヒヤッ

ヒヤッ

ヒヤッ

ヒヤッ

ヒヤッ

小沼さんの  
オ〇ン〇ンを  
入れて下さい



ああああ...

言わないと  
入れて  
あげないぞ



あああゝんっ...  
小沼さんっ  
いやあああ!!

小沼さんはペ〇スの先で  
私のアソコのヒダに  
こすりつけ開いたり  
閉じたりしてしまいました

いい言いますから  
そんなイタズラ  
しないでえええ…

ビリッ…

あっ

あっ

ハアッ

ハア

ビッ

ビッ

ポチャ

フチャ

フチャ

ビッ

それじゃ  
言うんだよ

こ  
小沼さんの…

ハアッ

ハア

ハアッ

ハアッ

ハアッ

ハアッ

小沼さんの  
チ○ポを  
入れて下さい

つづく